



羽白館

やればできる！

みんなの好きな楽しい学校



令和6年1月11日
長崎市立深堀小学校
学校だより 86号
校長 桑原 重久

3学期が始まりました

令和5年度の締めくくりの学期である3学期がスタートしました。1月9日の始業式には、元気に登校してきた深堀っ子の笑顔があふれました。

始業式では、児童代表の2年生の2人による3学期の目標発表がありました。2人ともはきはきした声と、堂々とした態度で、この3学期にかけの意気込みが伝わってきました。昨年末に届いた、大谷翔平選手からのプレゼント(3個のグローブ)もようやく紹介することができました。待ちに待ったプレゼントに、子どもたちは大喜びしていました。

始業式の校長講話では、3学期は、現在の学年で学ぶべき内容をしっかりとまとめたり、次のステップである進学、進級におけ準備したりする大切な時期であることを話しました。そのためにも、子どもたちにはしっかりと行動目標を立てて取り組ませたいと思います。ご家庭でも子どもたちの目標達成におけ励ましと声掛けをお願いします。

なお、心配していた感染症による影響もなく、金曜日までの短縮日課の間に生活リズムを整えていただきますよう、よろしくお願いします。

以下、校長講話の内容です。

明けましておめでとうございます。今年の冬休みは、今までとはちょっと違ったことと思います。それは、新型コロナウイルス感染症を心配することなく、普通のお正月を過ごすことができたのではないのでしょうか。とはいえ、一方では、お正月からとんでもないことがおこっています。皆さんもニュースで知っていることと思います。石川県では、元日の夕方に起きた大きな地震と津波による被害にあわれた方々が大勢いらっしゃいます。小学校の建物や多くの小学生も被害にあっています。みなさんはこうして今日3学期の始業式を安全に迎えることができますが、石川県のお友達は、その日を安心して過ごすことができない人も大勢います。私たちにできることは何かないのか、考えることが大事です。

さて、いよいよ今日から、令和6年度を締めくくる3学期が始まります。みなさん。2学期の終業式で校長先生が話したことを覚えていますか？「一年の計は元旦にあり！」という言葉です。みなさんは、どんな誓いをたてたでしょう？

学校全体として、3学期しっかり取り組んでほしいことは、1つです！

3学期が終わると、みなさんは1つ上の学年に進級します。6年生は小学校を卒業して、中学生になります。3学期はそのための大切な準備をする学期です。3か月しかないですが、みんなで力を合わせて、みんなが笑顔で進級することができるように、みんなが笑顔で卒業することができるように力を合わせる大切です。みんな同じ目的のために力を合わせることを「一致団結！」といいます。3学期の深堀小学校は「一致団結 笑顔で卒業 笑顔で進級」にしっかり取り組みます！みんなでどんな終わり方をするとよいのか、このあと各学級で話し合ってみてください！3学期は、深堀小学校のよい子のみんなが、それぞれ目標をもち、その達成をめざして充実した日々を過ごしてくれるよう期待しています。

3学期の始業式は、この1年の中で一番引き締まった雰囲気のある始業式でした。子どもたち一人一人の心に、期するものを感じさせる立派な態度でした。

その理由を考えてみました。答えは、冬休みの間にご家族・ご親戚といっしょに、心の休まる時間を十分に過ごすことができたからこそだと思います。子どもたち一人一人が安心して、満たされた表情をしているように感じました。家庭の力は大きいなと感じました。

家庭の力

学校が始まると、慌ただしい日々が戻ってきます。学校はご家庭とは違い、限られた時間の中で、多くのことをやり遂げなければなりません。だからこそ、そこで身につける力は、子どもたちの成長にとってとても大切です。

子どもたちは、学校で精いっぱい頑張って家に帰るので、たくさん話を聞いてあげてください。できたことを褒めてあげてください。次に楽しみなことは何か、ぜひ聞いてあげてください。そうすればきっと、子どもたちはぐっすり眠ることができると思います。そして元気いっぱいの朝をむかえることができます。

これは家庭でしかできないことです。どうぞよろしくお願いします。

学校ホームページの更新

学校ホームページに、冬休み中に工事が終わった「B校舎階段の塗装」「A校舎のトイレ間仕切り」「学校掲示板の様子」「大谷選手からいただいたグローブ」などの記事を更新しています。ぜひご覧ください。※現在「9045」カウントです。

今年度中に「10000」超えるよう、これからも随時、新しい情報を更新していきます。

